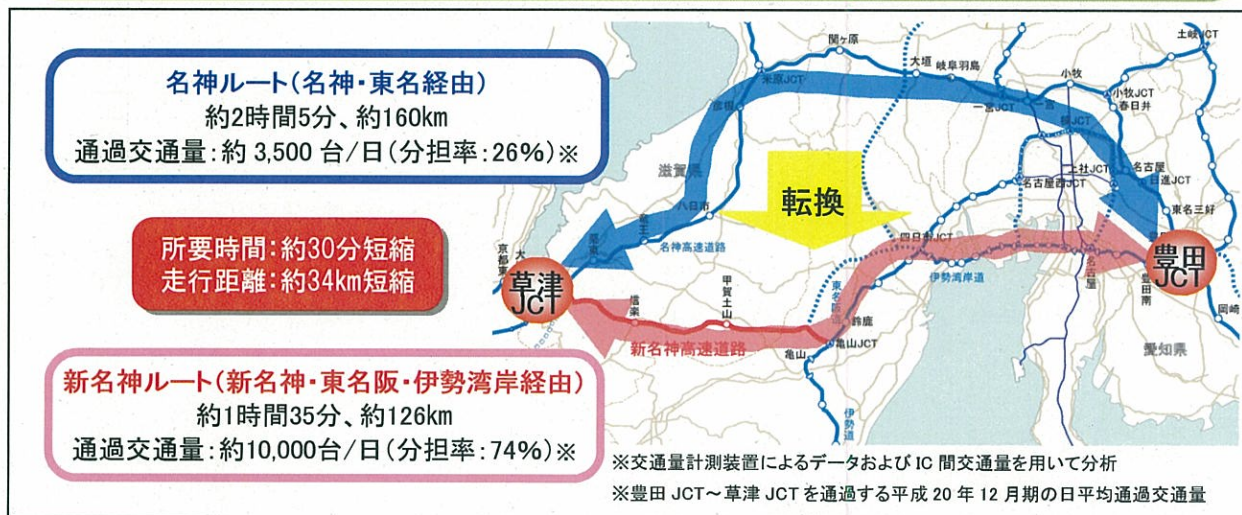


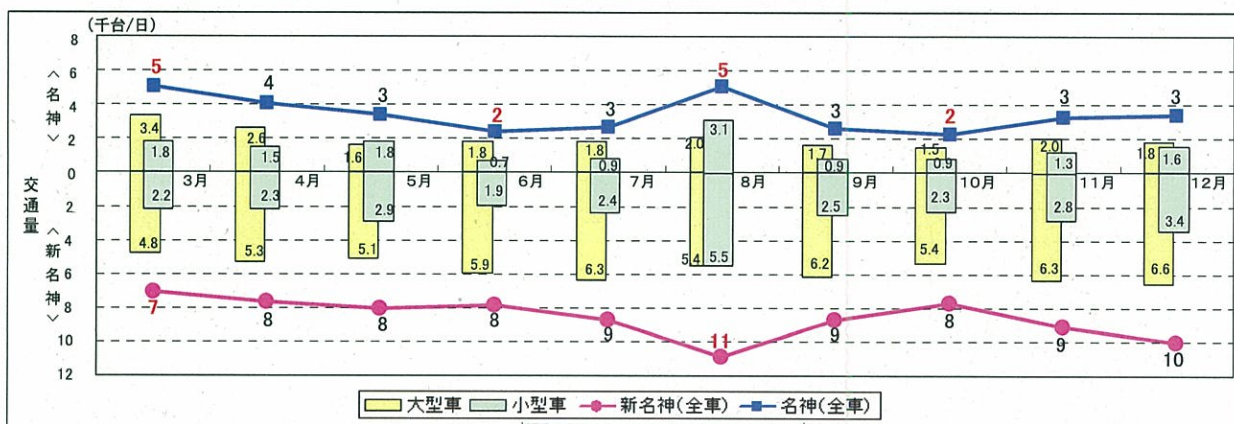
## <整備効果>

### 1. 所要時間と走行距離の短縮(豊田JCT～草津JCT)

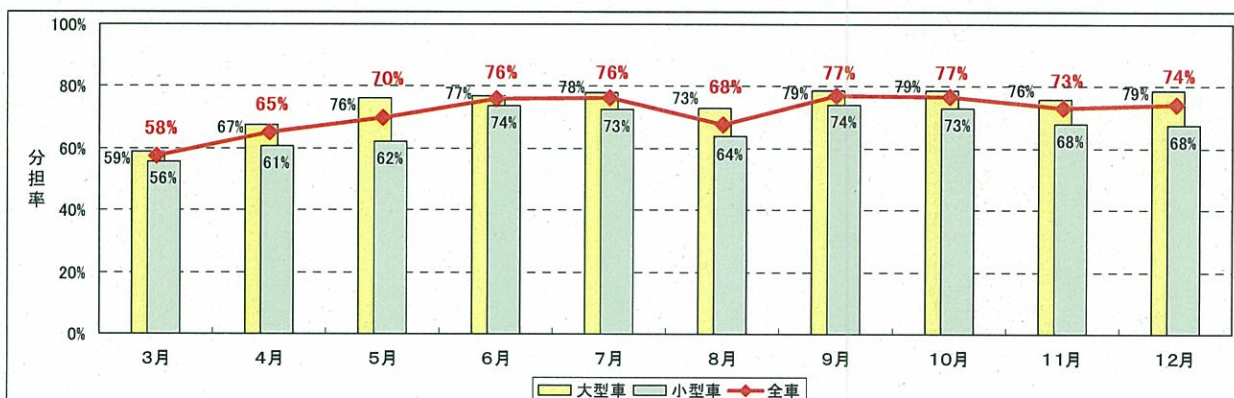
- ・新名神ルートの利用により、名神ルートに比べ所要時間が約30分、走行距離が約34km短縮しました。
- ・豊田JCT、草津JCTの2地点を通過する交通量は、名神ルートが約2,000～約5,000台/日で、新名神ルートが約7,000～約11,000台/日で推移しています。
- ・新名神ルートを利用する割合(分担率)は、開通直後の58%から徐々に増加し、繁忙期の8月を除き、6月以降概ね75%前後で推移しています。また、新名神ルート分担率は大型車より小型車の方が小さくなっています。



【新名神ルートと名神ルートの比較】



【豊田JCT～草津JCT間のルート別交通量の推移】

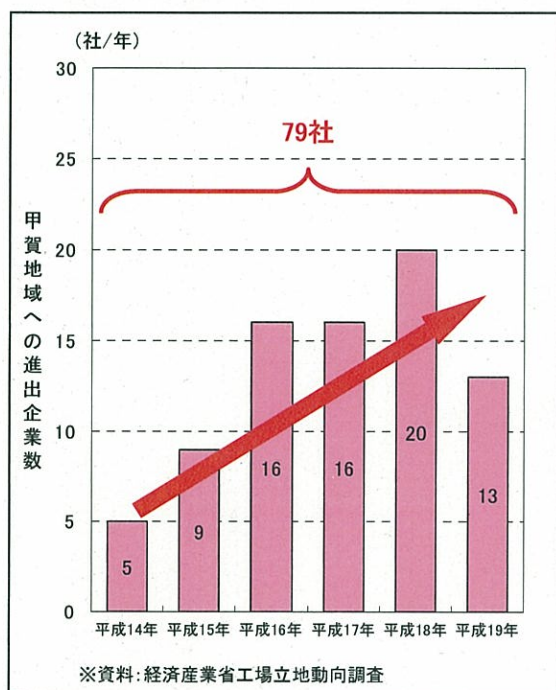


※ 8月は、高速道路を通常利用されない新名神認知度の低い交通が、他の月と比べ相対的に増加することから分担率が低下するものと推察

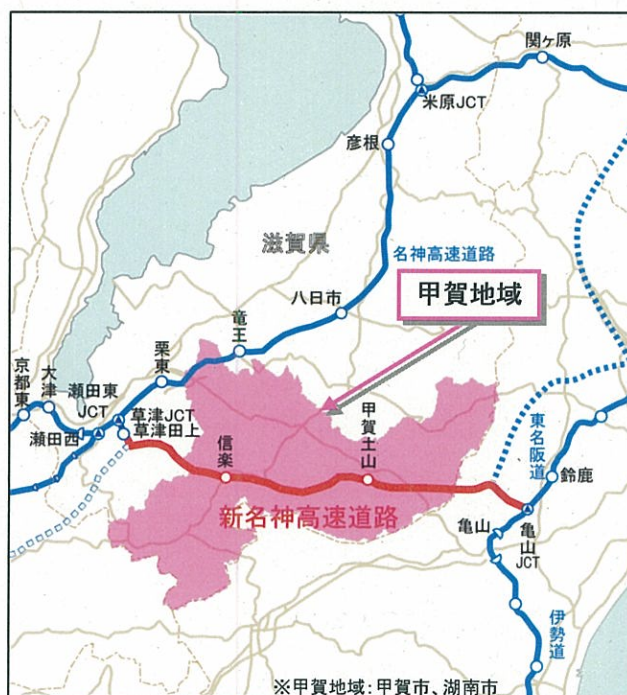
【豊田JCT～草津JCT間の新名神ルートの分担率の推移】

## 2. 新名神の沿線に進出する企業が増加

・新名神沿線の甲賀地域には、ここ6年間で滋賀県に進出した企業197社のうち、約4割にあたる79社が進出しました。

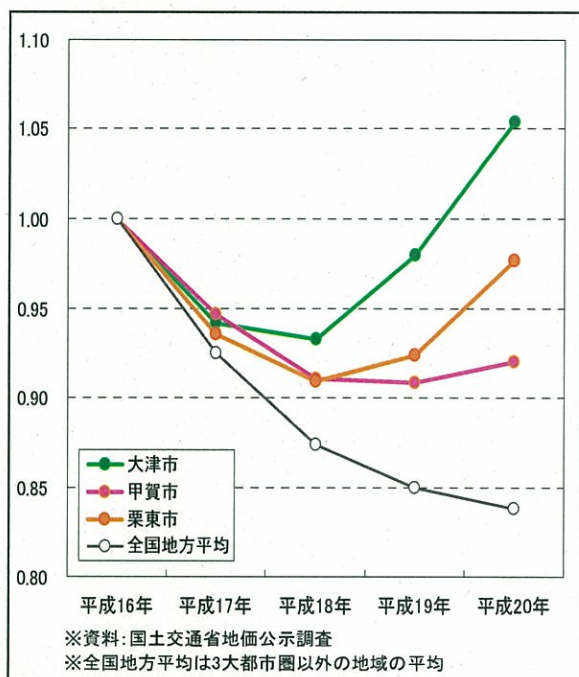


【新名神沿線への進出企業数】

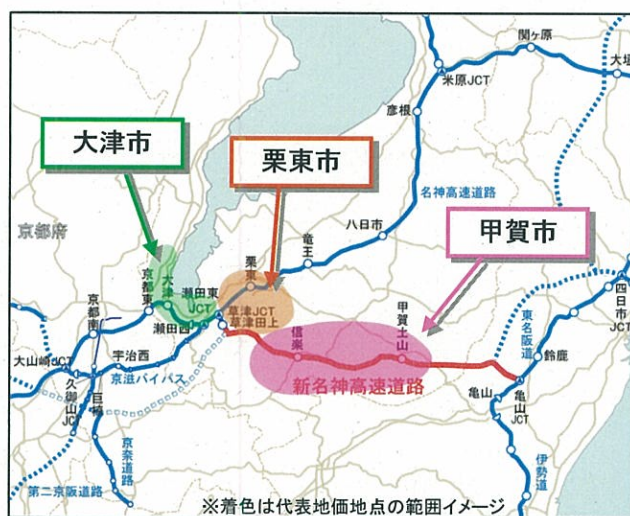


## 3. 新名神沿線の地価が上昇

・新名神沿線の大津市、栗東市、甲賀市の地価(商業地)は、全国地方平均が下落傾向にあるなか平成19年以降、上昇に転じました。

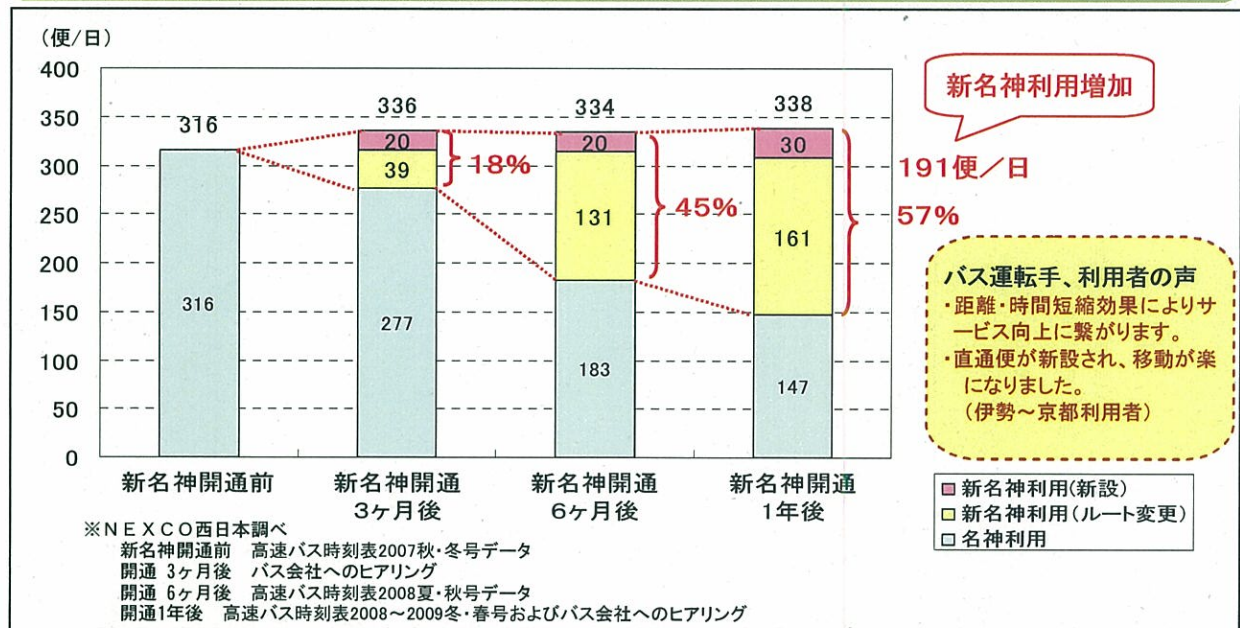


【地価変動(商業地)】



#### 4. 新名神高速道路を利用する高速バスの便数が増加

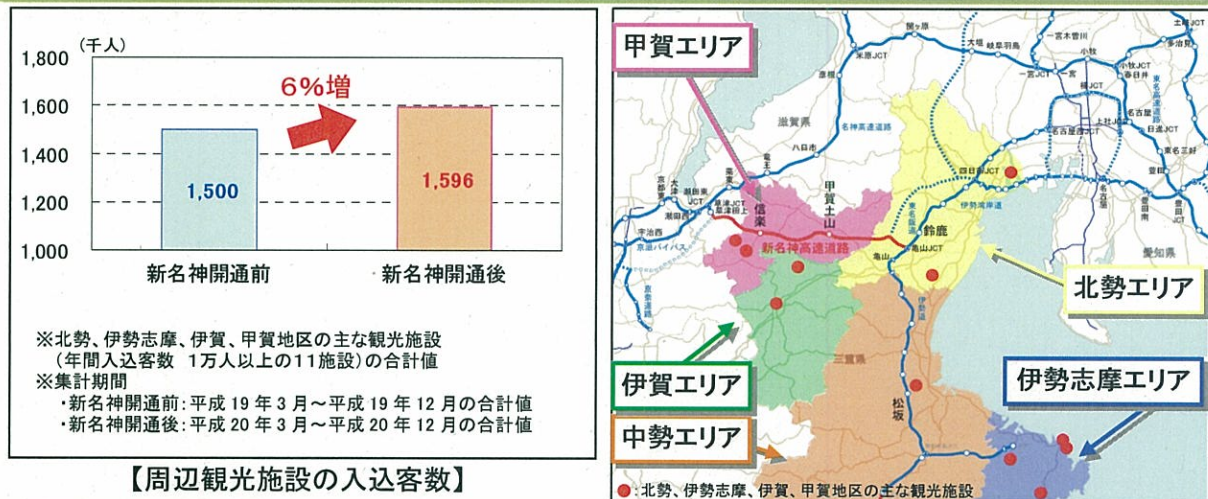
- ・新名神を利用する高速バスは、開通後1年間で191便/日(片道)まで増加しました。
- ・開通後1年間に、4路線30便/日(片道)の高速バスが新設されました。



【新名神、名神利用の高速バスの便数の変化】

#### 5. 新名神周辺の主な観光施設の入込客数が増加

- ・新名神周辺の主な観光施設では、開通後10ヶ月間の入込客数が、前年同時期に比べ6%増加(150万人→159.6万人)しました。



#### <亀山JCT近隣の観光施設A社の声>

- ・近畿方面からの自動車が増加しており、10月の3連休は、前年より約6割増加しました。



【亀山JCT近隣の観光施設駐車場におけるナンバープレート調査】

## 6. 東名・名神高速道路の代替ルートとして機能

・東名・名神高速道路の通行止めが長時間に及ぶ(開通後1年間で生じた13回の通行止めのうち、9回が5時間以上)などの際には、新名神が代替ルートとして機能しました。

【東名・名神通行止め状況】

|    |    | 通行止め時間 |       | 計   |
|----|----|--------|-------|-----|
|    |    | 5時間未満  | 5時間以上 |     |
| 原因 | 事故 | 4回     | 7回    | 11回 |
|    | 降雪 | —      | 2回    | 2回  |
| 計  |    | 4回     | 9回    | 13回 |

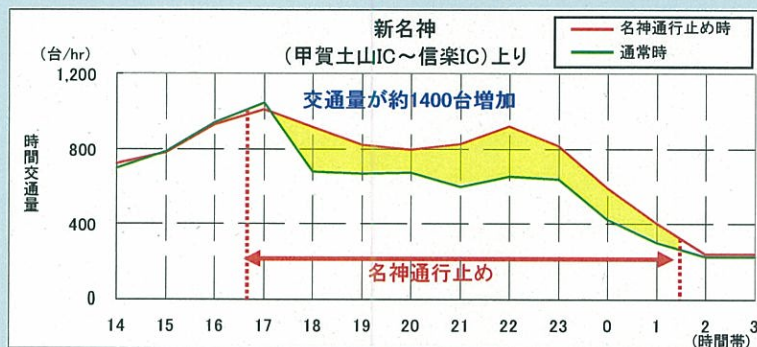
【代替ルートとして機能した例①】

原因: 事故

区間: 名神(一宮JCT～岐阜羽島)上り

期間: 平成20年7月20日(土)～21日(日)

16:40～翌1:30 (8時間50分)



【通行止め位置図】



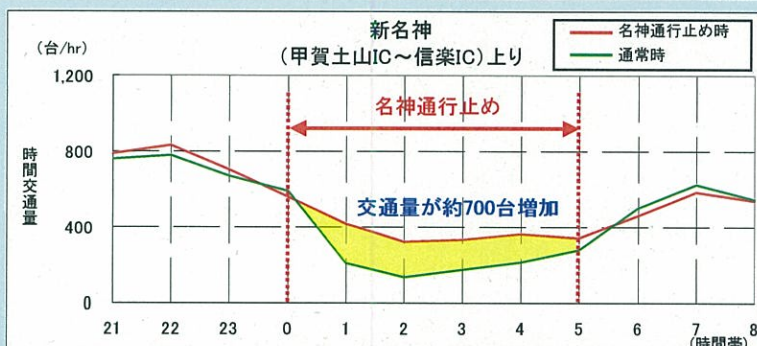
【代替ルートとして機能した例②】

原因: 事故

区間: 名神(竜王～栗東)上り

期間: 平成20年12月1日(月)

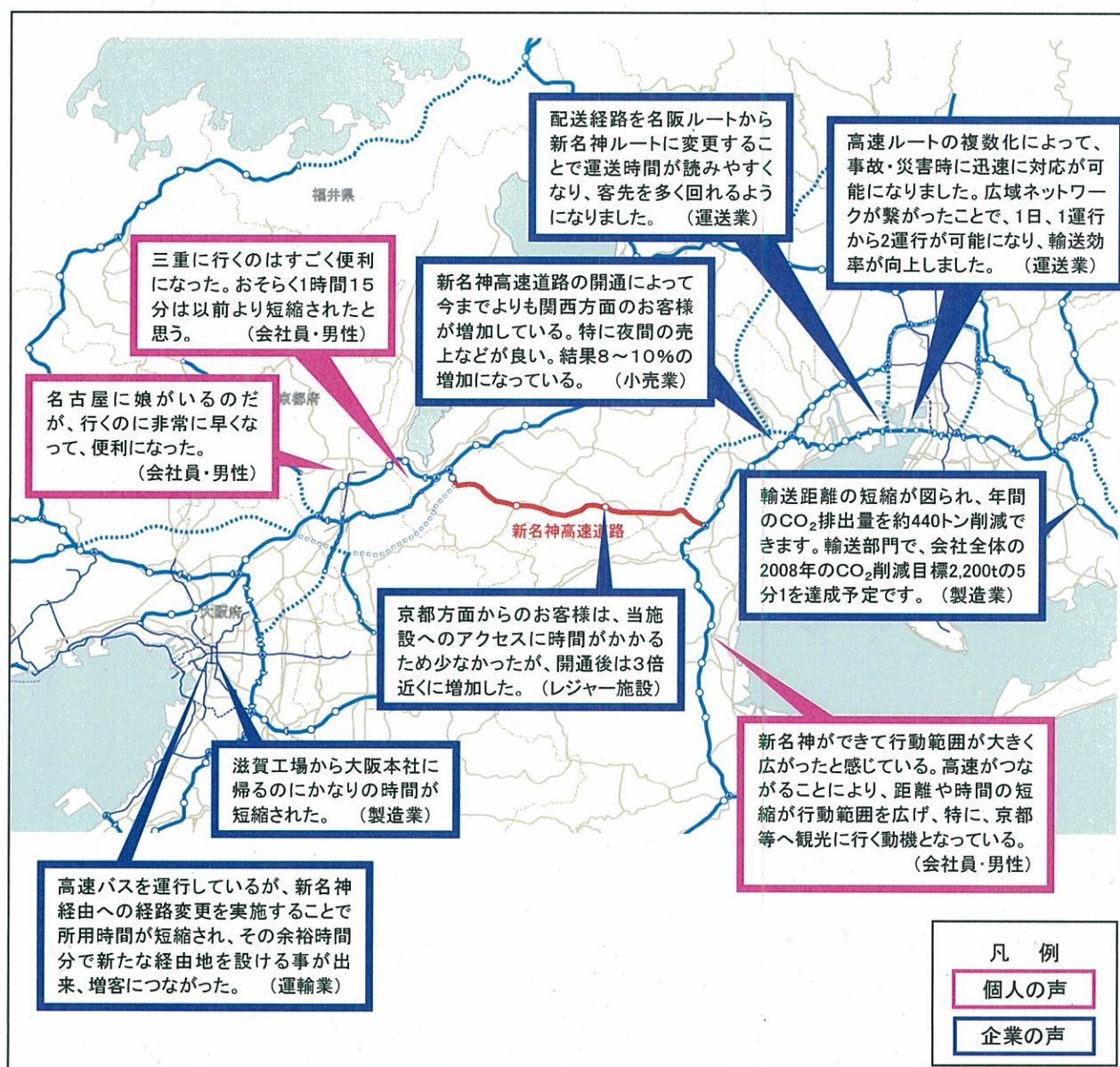
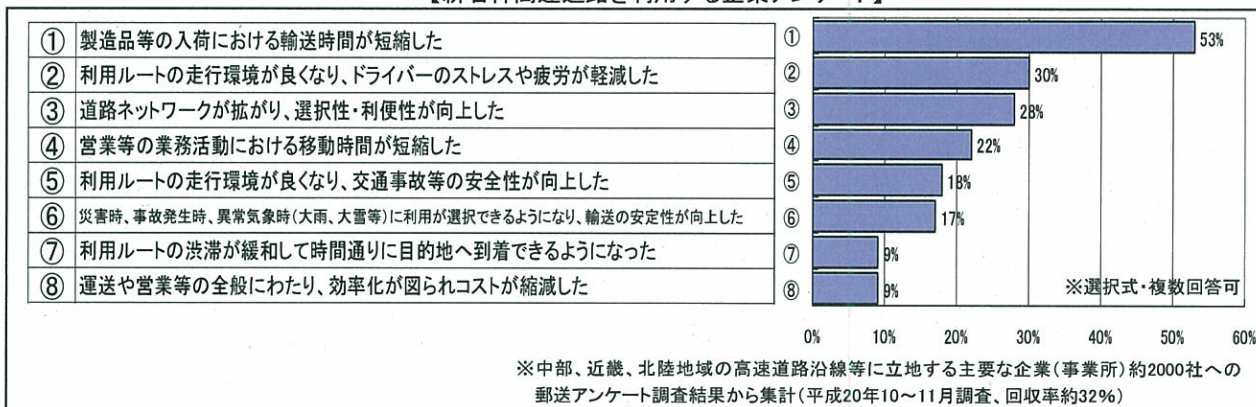
0:07～5:15 (5時間08分)



## 7. 新名神利用者の声

・新名神を利用する企業へのアンケートでは、新名神利用の効果について、“製造品等の入荷における輸送時間が短縮した”、“利用ルートの走行環境が良くなり、ドライバーのストレスや疲労が軽減した”、“道路ネットワークが拡がり、選択性・利便性が向上した”などの回答が多くありました。

【新名神高速道路を利用する企業アンケート】



【アンケートまたはヒアリング調査における声】